

校長通信②⑦

10月11月の学校の様子



②⑥をアップしてから1か月以上通信を載せることができませんでしたが、この間も飯田養護学校では子どもたちや教職員・保護者の皆さんが生き生きと活動する姿がありました。10月には、PTA会長と相談して、初めての企画として学校林作業に合わせて、保護者・教職員で学校林でキノコ狩りをしました。残念ながら収穫はできませんでしたが、キノコを探しながらいろいろな話ことができました。このような機会を作ることができ、参加して下さった皆様にも感謝しています。来年度は、学校林内の竹林にたくさんのタケノコが出るので、タケノコ狩りができるといいですね。

11月には、2週間の高等部後期現場実習がありました。私も、実習先を訪問させていただきました。現場実習では卒業生が就労している実習先もあり、卒業生と話ができることもあるので、今の生活の様子などお聞きできる貴重な機会となっています。

今回の訪問で、「前期に比べて集中力が増して、作業効率が上がりました」といううれしい話をお聞きしました。本人に聞いてみると「いろいろ考えて作業ができるようになってきました」と話してくれました。製品を組み立てる作業の中でも、何も考えずにやっているとミスが出ることもあるそうです。「どうやったら、より早く組み立てられるか」ということを考えたり、製品の持ち方を考えたりしていると、ミスも少なくなるし、やっていて楽しいそうです。自分自身の仕事を振り返る貴重な話を聞くことができ、私にとっても収穫のある現場実習でした。



11月、12月は、本校で初めて正規の教員になった先生方(初任者)が、自分の授業を先生方に見ていただき、授業力等を向上させるための授業研究会を行っています。私たち教員にとって一番大事な仕事は授業です。児童生徒にとってわかりやすく、ワクワクするような授業を考えることは、大変ではありますが、やりがいを感じるものです。私も、子どもたちの様子を想像しながら、授業の準備をしている時は、自然と顔がほころんでしまうこともありました。初任者の先生方にも、「自分自身が楽しみになり、ワクワクするような授業にしてください」と話しています。今回は、小学部6年生の授業を参観しましたが、「自分もここで遊びたいな」と思えるような仕掛けがちりばめられていて、参観した先生方もとても勉強になりました。